

## 「主権回復式典」あと一週間

### 組合員のみなさん

昨年末の選挙で自民党は、憲法改正により「自衛隊を国防軍」にすることを公約として安倍政権が発足しました。政権発足後、憲法を改正し“戦争をする日本”を作るために具体的に動き出しています。

その一つとして、サンフランシスコ講和条約発効61周年を記念して4月28日を「主権回復の日」として式典を実施することを閣議決定しました。しかし、沖縄ではこの4月28日を、講和条約により沖縄、奄美、小笠原などが本土と完全に切り離されてアメリカの施政権・支配下に置かれた「屈辱の日」と呼んでいるのです。

その講和条約が発効されてから20年後の1972年に沖縄がアメリカの支配から解かれ日本に復帰しましたが、今も沖縄は米軍基地の最前線のままです。しかも、沖縄だけでなく、新たな日米地位協定による負担は日本全体に残ったままです。

全国で発生している米兵による犯罪や事故はもとより、例えば、一都八県（東京、埼玉、神奈川、新潟等）の上空は米軍の管理下にあります。これは当然沖縄の上空も同じです。私たちが旅行で飛行機を利用するときも空域を制限されているのです。

このような現状のなかで安倍政権は、4月28日に「主権回復式典」として政府が記念式典を開催することを決めたのです。安倍政権として、憲法を改正し軍隊を持つという目的を達成するために、アメリカから「日本が独立した日」を強く打ち出す必要があるのです。

### 組合員のみなさん

安倍政権は、7月の参議院選挙を前にして何としても憲法改正の世論を作ろう、と考えています。

私たちの大きな声で、沖縄県民だけでなく戦争に反対する全ての願いを切り捨て、日本全土に基地を固定し続ける安倍政権の思惑を打ち砕かなければなりません。新聞は、1947年、GHQに昭和天皇が、米軍の沖縄占領継続希望を伝えた、とあります。にもかかわらず式典に現天皇が出席、という政治的利用も仕組まれています。

**絶対に“戦争の出来る日本・戦争をする日本”にはなりません。**  
予定されている式典まで、あと一週間です。声を出しましょう。  
**主権回復式典やめろ！ 憲法改悪反対・9条を守れ・戦争反対！**

